

平成27年12月4日（金）に北海道立教育研究所において、第6回共同研究推進委員会を開催しました。

第15次共同研究の研究内容に係る加盟機関及び域内における実践の発表を6機関が行った後、研究の普及・還元について協議を行いました。



【共同研究推進委員による実践発表の様子】

【実践発表の観点】

- ①「授業改善ための支援」
- ②「校内研究活性化に向けた支援」
- ③「教員研修の充実に関する支援」

＜発表内容＞

- ①授業改善を支援するため、研究協力校に研究授業を公開していただき、その成果を中間報告や研究紀要で発信している。（空知教育センター）
- ②組織的に校内研究が進められる体制づくりのため、研修講座等において、ワークショップ形式で進める参加型の研修手法を紹介している。（渡島教育研究所）
- ③ライフステージに応じた研修の推進を明確にするため、開催要項に講座内容や対象の教職経験年数を明示し、講座選択時の参考となるよう工夫している。（上川教育研修センター）



【第15次共同研究の普及・還元についての協議の様子】

【協議の柱】

- ①第15次共同研究の効果的な普及・還元方法について
- ②各教育研究所・研修センターの学校への支援の在り方について

＜協議内容＞

- ・研修講座を企画する際は、域内の学校の課題等を踏まえ、課題解決に資する内容となるよう配慮することが重要である。
- ・講師等を招聘する際は、各教育研究所等がもつ情報を共有することで、講師候補の選択肢が広がり、講座内容の質を高めることができる。
- ・共同研究を普及・還元する際は、支庁地区立の教育研究所・研修センターが中心となり、域内の教育研究所・研修センターとともに推進すると効果的である。